

BetaPRO

3000

Super Hi-Band 6.0MHz **β**Is & Beta Hi-Fi



SL-HF3000の主な仕様
録画方式：回転2ヘッドヘリカルスキャン方式
録音方式：ベータハイファイ方式
映像信号：NTSCカラー方式、EIA標準方式
使用カセット：**β**マークの付いたビデオカセット
テープ速度：**β**III 1.33cm/秒、**β**II 2.00cm/秒、**β**I・**β**Is 4.00cm/秒
最大録画・再生時間：**β**III 5時間、**β**II 3時間20分、**β**I・**β**Is 1時間40分（**β**Isは再生のみ）
＜ビデオカセットL-830使用時＞
早送り・巻戻し時間：4分以内（ビデオカセットL-500使用時）
音声周波数特性：20Hz～20kHz（ベータハイファイ「入」、MPXフィルター「切」）
音声ダイナミックレンジ：90dB
音声ワウ・フラッター：0.005%WRMS以下（ベータハイファイ時）
受信方式：スーパーインターロックキャリア方式
受信チャンネル：VHF（1～12ch）、UHF（13～62ch）
アンテナ入・出力端子：VHF：75ΩF型コネクタ
UHF：300Ω平衡型ねじ式ターミナル、分配器内蔵
映像入力：ピンジャック（1）×2系統
映像出力：ピンジャック（1）×2系統
音声入力：ピンジャック（2）×2系統
音声出力：ピンジャック（2）×2系統
マイク入力：ミニジャック（1）
コントロール入力：ミニジャック（1）、5ピンコネクタ（1）
コントロール編集用T入出力：ミニジャック（1）
コントロール編集用出力：ミニジャック（1）
カメラリモート入力：特殊ミニジャック（1）
カメラリモート編集用出力：特殊ミニジャック（1）
ヘッドホン端子：ステレオ標準ジャック
時間同期方式：電源周波数同期方式
時刻表示：12時間方式
タイマーセット：録画専用3週8プログラム
電源：AC100V、50/60Hz
消費電力：55W
外部コンセント：非連動（1）、連動/非連動切替（1）
動作温度：5℃～40℃
保存温度：-20℃～+60℃
大きさ：幅430×高さ125×奥行411mm
重さ：13.7kg

Beta 録画・再生について●このビデオはベータ方式のビデオです。**β**マークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。●**β**I・**β**Isモード（テープ速度：4.00cm/秒）、**β**IIモード（テープ速度：2.00cm/秒）、**β**IIIモード（テープ速度：1.33cm/秒）で録画したテープは、それぞれの再生モードのないビデオでは再生できませんのでご注意ください。●ビデオカセットテープL-830、750、660タイプは**β**マークのついたビデオのうち、**β**マーク付でのみ使用可能。●ハイバンド（映像）と従来方式の関係●従来方式のビデオで録画したテープの映像は、従来方式のまま再生されます。●ハイバンドビデオで録画したテープは従来方式のビデオで再生できますが映像に若干ノイズが出る場合があります。●ベータハイファイ（音声）と従来方式の関係●従来方式のビデオで録画したテープの音声は、従来方式のままステレオはステレオで、二重音声の場合は主、副音声を選んで再生できます（BNRなし）●ベータハイファイ方式で録画したテープは、従来方式のビデオで再生できます。（音声はベータハイファイ方式でなく、モノラルとなります。）●あなたが実演や興業、展示物などを撮影したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。なお、実演、興業、展示物などのうちには、これらの主催者（管理者）が、会場等の管理権に基づき、個人として楽しむなどの目的の撮影であっても、制限している場合がありますのでご注意ください。●あなたがテレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。●カタログと実際の製品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。●お買上げの際には製造番号をご確認ください。●このカタログに掲載されている商品が地域により品薄の場合もありますので、販売店におたしかめの上お選びください。●ビデオデッキやテープ、ビデオカメラなどを使用中、万一これらの不都合により録画されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。◎は日本電子機械工業会が定めた音声多重のシンボルマークです。◎はビデオやオーディオ機器とのシステム展開を考慮した、ソニーの新しいアイコンです。

●この商品には保証書がついています。お求めの販売店で所定事項を記入した保証書を必ずお受けとってください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35
ショールーム 東京/銀座数寄屋橋ソニービル
大阪/南区心斎橋筋ソニータワー
お客様ご相談センター 東京/(03) 448-3311
大阪/(06) 251-5111
名古屋/(052) 232-2611

このカタログの内容について、詳しく知りたい方は、お近くのソニー商品販売店におたずねになるか、当社のお客様ご相談センターにお問合せください。

ソニー商品販売店

経堂店

世田谷区経堂2-1-26 経堂小田急ジョイフル2F
TEL 426-8 8 1 1（代表）

'86.10

カタログの記載内容：1986年10月現在

Sony
Credit
よい品を手軽に分割払いで
ソニークレジット

SONY

BetaPRO

3000

Hi-Band Beta Hi-Fi Video Deck SL-HF3000 ¥288,000 (ワイヤレスエディター RMT-147付属)

Super Hi-Band 6.0MHz **β**Is

D.A. PRO 4-Head

Beta Hi-Fi

βIs Rec Position・Edit Position・Sharpness Control

Wireless Editor

Jog Dial・Shuttle Ring

Data Screen・Index Search・Index Scan

Time Search・Tape Remain

Twin Flying Erase Head

8 events Program Edit

AV Insert Edit

Title Insert

Pre-rol Edit・Control-T Jack



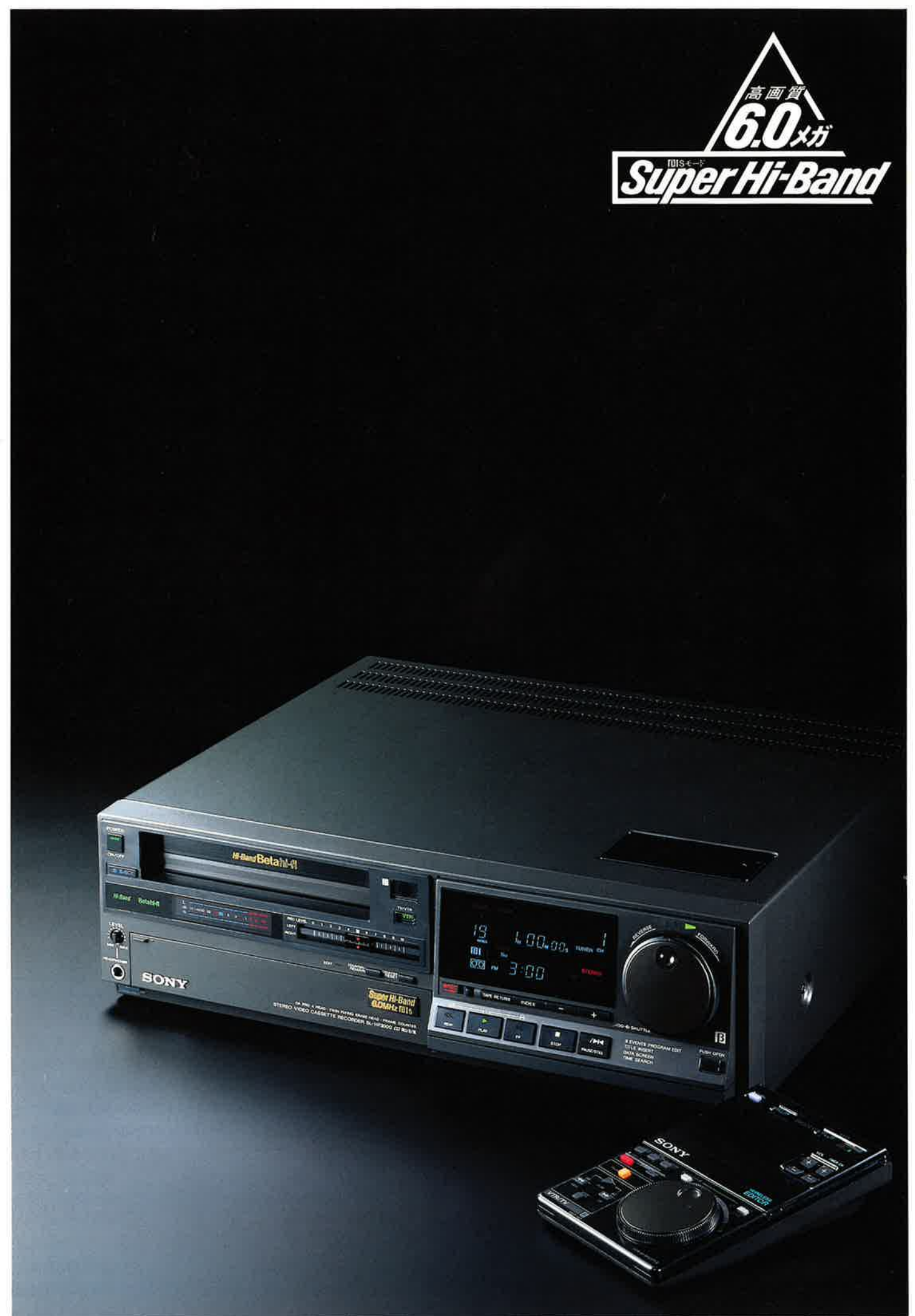
ベータマックスは高画質ビデオのブランドです。

いつのことだったか、展覧会に出かけ、一幅の絵に
ひどく感銘をうけたことがある。その絵には、
約50人の等身人物が驚くほど緻密な表現技術と
正確な観察眼とで描かれていた。
画家の名は、クールペ。パンフレットによると、
19世紀の写実主義の画家で、対象を客観的・
視覚的につかむことを至上とし、「天使は
目に見えないから描かない」の名言を残している。
美術は専門ではないので正確なことは分らない。
しかし、当時ベータマックスのハイバンド化に
着手していた自分と、自然への徹底した観察と
再現に一生を捧げた画家の間に、
妙なオーバーラップを覚えたことは確かだ。
少なくとも、自然の美しさを技術をたよりに
忠実に再現するという点に於いて、
我々の仕事は共通点を持つ。
我々がビデオの画づくりをする際に抱く夢。
それは、たとえ、髪の毛の一本一本、微妙な肌の陰影
でさえ、見えたものを、忠実に再現することだ。

この夢を実現するには、
画質に対する根本的な技術改革が必要になる。
我々が選んだ道は、家庭用ビデオとしては初めての
5.6MHz・ハイバンド化だった。ノイズを
激減させた狭トラック化。トラッキング技術の習熟。
そして、大口径ドラムとそれに伴う相対速度の
大きさを活かした800kHzのシフトアップ。
これらさまざまな技術が生み出す画質は、我々、技術者
の目から見ても十分に納得できるものだと思っている。
今回発表するベータプロ3000は、ハイバンド思想を
さらに押しすすめ、6.0MHzへの
シフトアップを実現した。6.0MHzといえば、
テレビの送信周波数帯域幅とほぼ同レベルであり、
オリジナルに肉薄する画質が得られることになる。
つまり、「見えるものは、ありのままに再現する」という
夢にまた一歩近づいた訳だ。もちろん、
クオリティの高さとその価値は同じ尺度でははかれない。
価値がいかばかりのものは、
あなた自身の目で確かめていただくほかない。

ビデオ事業本部 第1事業部長

菊地 康



優れた基本性能が“プロ”のクオリティを物語る。 驚異の高画質・高音質を実現。 スーパーハイバンド6.0メガ **BI**s を搭載した、ベータプロ3000。

Super Hi-Band 6.0MHz **BI**s

美しい映像で記録し、再生する。——ビデオにとってもっとも大切なテーマを、ソニーは常に最先端で追いつけてきました。ベータマックスは、そうしていきついたひとつの結論です。10余年前に誕生した時点で、現在までの周辺技術の進歩をすでに予見。高画質化に向けて、大きなポテンシャルを秘めた基本設計を行ってきました。ホワイトクリップレベルを260%に向上させた「ノンリニアエンファシス記録方式」(昭和52年)や、ビデオ画像にドラスティックな高画質化をもたらした「5.6メガ・ハイバンド」(昭和60年)の開発は、基本設計の余裕度を実証するものでしょう。今回、ベータプロ3000に搭載した「スーパーハイバンド6.0メガ **BI**s」は、これら優れた要素技術の集大成と呼べるもの。いわばベータマックスの開発史のすべてが凝縮されているのです。

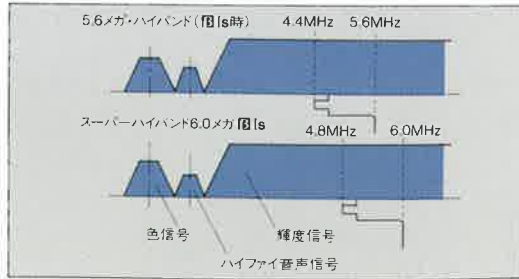
ビデオ画像の美しさは情報量に比例する。記録できる情報量を一気に増やし、高解像度化を実現した、5.6メガ・ハイバンド。

一般に、ビデオ画像にとって高解像度化とSN比の改善は二律背反の関係にあります。つまり、ノイズをへらそうとすれば解像度を犠牲にせざるを得なくなり、逆に解像度を思いきって上げればそれだけノイズが増えてしまう。そこでハイバンド以前のビデオでは、高解像度化にはある程度目をつぶり、ノイズを少なくする画づくりが次善の策としてとられてきました。ソニーでもすでにビデオ信号とノイズの性質の違いを利用して、SN比を改善する、ディレイラインを用いた輝度信号用ダイナミックし形フィルターによるノイズリダクション回路を採用。平坦部及びエッジのノイズを大幅に低減しました。また、録画時にあらかじめ高域成分を強調し、再生時にこれをもとに戻すエンファシス回路についても、ソニーではベータ方式の広帯域フォーマットを生かしたノンリニアエンファシスを採用。S/N改善度を高めるとともに、ホワイトクリップを260%に設定し、輪郭をよりシャープにすることができました。しかし、これらの画質改善技術は、あくまでも限定された情報量の範囲内で、美しく見せる「視感補正技術」が主体です。そこで登場するのが、記録できる情報量を大幅にふやし、根本的な高画質化をはかった映像記録方式、5.6メガ・ハイバンドです。信号帯域に余裕のあるベータ方式の特長を生かして、ピークキャリア(FM変調用搬送波の白ピークレベル周波数)を従来の4.8MHzから5.6MHzへとシフトアップ。画質そのものを直接左右する映像記録帯域を大幅に広げることで、これまでノイズとともにキャンセルされていた細かな高域の映像情報を忠実に記録・再生することが可能になったのです。記録できる情報量が根本的に増え、しかも緻密になったのですから、当

然解像力も20%向上。優れたSN改善技術とあいまって、高解像度・低ノイズの、オリジナルに限りなく近い映像美をもたらしました。また、このハイバンド化によって、解像度だけでなく、色彩や彩度も含めたトータルな意味での画質も向上しました。これらの大幅な改善ができたのは、ベータ方式がヘッドドラムの直径が大きく、テープとの相対速度を約7m/秒と大きくとれるので、信号帯域に余裕をもっているからです。そして、このベータ方式の基本的な素性の良さは、スーパーハイバンド6.0メガ・**BI**sを生み出す上でも、決定的な要因となりました。

優れた基本フォーマットをベースに、6.0MHzへのキャリアアップを達成。マニア待望の高密度記録方式、スーパーハイバンド6.0メガ・**BI**s。

オリジナル画の忠実な記録・再生へ向けて、さまざまな角度からアプローチしてきたソニー。このソニーの数ある高画質技術の中で、特筆すべきものが2つあります。ひとつは、もちろん、ハイバンド技術。そしてもうひとつが、登場以来、マニアの圧倒的な支持を得た高画質記録モード**BI**s。この2つの技術が融合し、さらに磨き抜かれて誕生したのがスーパーハイバンド6.0メガ **BI**sです。5.6メガ・ハイバンドを達成してもなおかつ余裕のある、優れたベータ方式のフォーマットを生かし、**BI**sモード時のピークキャリアを、さらに400kHzシフトアップして6.0MHzへと拡大。従来から、専用ヘッド・専用アンプの搭載やテープスピードの速さにより、映像記録帯域に余裕のあった**BI**s時の画質を大幅にクオリティアップしたのです。これにより記録できる情報量はさらに増大し、鮮鋭度も向上。アジマス効果によるクロストークやカラー信号への妨害の低減と相まって、微妙な肌の陰影や砂に刻まれた風紋の動きなど、オリジナル画にこめられた細かな映像情報をリアルに再現することが可能になりました。また新開発のダイナミックカラー記録回路の採用で色再現性も向上。時々刻々と変化する夕焼け空の階調などカラー画像のグラデーションも忠実に描ききります。解像度で、立体感で、色再現性で。ビデオの画質向上にルネサンスをもたらしたハイバンド技術。マニアの方の目にも充分にかなう高画質を実現したと確信します。



スーパーハイバンド6.0MHz **BI**sモードで記録した画像をその機能を持たない他のビデオデッキで再生すると画面上にノイズが発生することがあります。

D.A. PRO 4Head

映像ノイズを大幅に低減。鮮明な静止画再生やピクチャーサーチが思いのままに楽しめます。

ベータプロ3000では、ヘッドギャップの異なる2つのヘッド(アジマスは互いに逆方向)を1組にしたダブルアジマスヘッドを180度位置にセットしたD.A.(ダブルアジマス)プロ4ヘッドを採用しています。この独自のヘッド構成により、これまで高画質化をはばむ大きな要因であった隣接トラックからのノイズ混入(クロストーク)を大幅に低減。復調プロセスにおけるノイズリダクションを浅くかけることができ、ハイバンド特有の緻密な高域映像信号を鮮明に再現することができ

Beta Hi-Fi

ダイナミックレンジ90dBをマーク。ベータハイファイがさらにブラッシュアップされました。

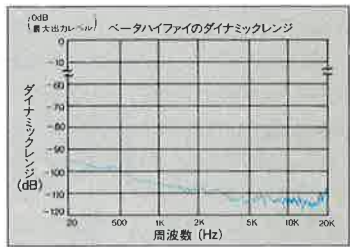
音声信号をFM変調して記録するビデオ音声記録の新しい方式(周波数多重FM方式)はソニーのベータハイファイとして世界で初めて商品化され、従来のビデオサウンドのスペックを一新。AV(オーディオ・ビジュアル)対応という新しい時代のビデオの流れに画期的な進歩をもたらしました。ベータプロ3000ではこのベータハイファイを細部にわたってブラッシュアップし、さらに優れた音響特性を実現しています。その一例が、**BI**s・**BI**II・**BI**IIIのすべての録画モードで90dBをマークしたダイナミックレンジ。ヘッドの高性能化などにより、ビデオの音はついにデジタルサウンドに大きく迫る高音質を実現したのです。また、低歪フィルターやCDプレーヤーなどに使われている低歪の高音質コンデンサーを用いるなどして、20Hz~20kHzまできわめてフラットな周波数特性と低歪を実現。さ

BIs Rec/Edit/Sharpness

BIモードのクオリティをグレードアップ。更に美しい映像が楽しめる**BI**sモード。テープ速度が**BI**IIの2倍(4cm/秒)で記録幅に余裕のあった**BI**Iモード。この**BI**Iモードのエンファシス回路をノンリニア特性に変更し、低出力時のノイズ成分を大幅に低減。鮮鋭度をさらに向上させたのが**BI**sモードです。ベータプロに搭載して以来、マニアの高い支持をうけてきた、この**BI**sモード。今回のベータプロ3000では、従来の**BI**sモードと**BI**s SHBモードの2種類の切り換えができます。5.6メガ・ハイバンドの高画質をより美しく楽しむなら**BI**sモードを。そしてスーパーハイバンド6.0メガ **BI**sを楽しむなら、**BI**s SHBモードをお選び下さい。そのクオリティは、マニアのシビアな要求にも充分お応えできることでしょう。編集テープのクオリティを高めるエディットポジション。従来のビデオ信号は、直接テレビで見たときに美しい画像で再現できるように

るようになりました。またスチルやピクチャーサーチを行う時には、2組のダブルアジマスヘッドの中から最適のペアを選択して再生します。その結果、まるで一枚の絵のように、美しく静止するクリーンスチルやノイズのきわめて少ないピクチャーサーチが楽しめるようになりました。高画質再生だけでなく変速再生も美しく再現するD.A.プロ4ヘッド。ベータプロ3000ならではのスーパーハイバンド6.0メガ **BI**sやジョグ/シャトルを生かしきる高性能ヘッドと言えるでしょう。

らに回路部分ではシメトリック構成のハイファイ音声用高集積ICを採用し、回路の微妙な差による特性変化を大幅に改善。電源系統には、ハイファイビデオとしては異例の20,000μF(従来比で2倍)の大容量コンデンサーを採用し、余裕ある重低音再生を実現しています。また、金メッキ音声入出力端子、OFC(無酸素銅)電源コードなど、細部にわたるまで本格的なオーディオ仕様とし、原音を忠実に再現する、純度の高いハイクオリティサウンドを達成。高画質にふさわしい高音質を実現しています。



ハイバンドの高画質を好みに調整できる、3つのポジションを装備しています。周波数の一部を補正しています。ところが編集をすると映像信号がこれらの補正回路を何度も通るので、かえって画質の忠実度を悪くする原因になっています。そこでテープの編集時には電氣的にフラットでかつ素直な特性が得られるようにしたのが、エディットポジションです。これにより画質の劣化は減り、編集したテープの画質は従来より一段と向上します。ことにハイバンドと組み合わせで編集したときの効果は劇的といえ、一度お確かめいただく価値は充分です。画像のメリハリを微調整できるシャープネスコントロール。再生画像の輪郭をシャープにしたりソフトにしたりして、メリハリの微妙なコントロールができます。シャープネスコントロールつまみを左へ回せば、ソフトでしっとりとした画像に。右へ回せば、輪郭がよりくっきりとした鮮鋭な画像が得られます。基本的に解像度の高いハイバンドだからこそ効果的な機能といえます。

ジョグ/シャトルから編集プレイまで離れた場所から自在に操作。 更にグレードアップしたワイヤレスエディター。



プロの機能・操作性が 優れた基本性能をフルに引き出す。 使い易さでも頂点をめざしたベータプロ3000。

優れた基本性能と多機能さ・使い易さは相反する要素ではない。

むしろ、クオリティを生かせる機能は、重要な基本性能のひとつであると、ソニーは考えます。

そこでベータプロ3000では、徹底したマイコン化をはかり、その機能をさらにハイレベルなものへ高めました。

離れた場所から、ジョグ/シャトルの変速再生や多彩な編集プレイが楽しめるワイヤレスエディター。

ビデオのオペレーション情報をテレビ画面に分かりやすく表示するデータスクリーン機能。

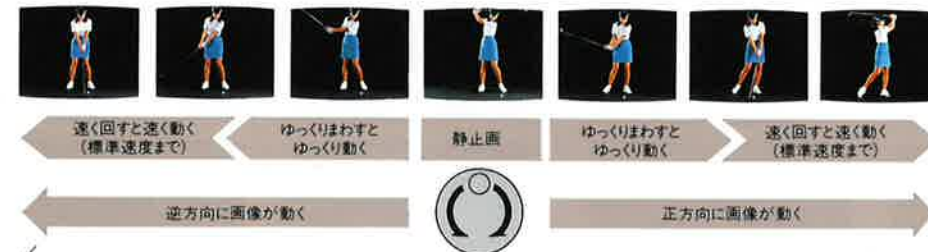
そして、テープ残量をマイコンが素早く計算するテープリメインをはじめとした便利な機能の数々。

これら多彩な機能群の装備が、高性能をもっと身近で使い易いものになっています。

高画質・高音質のベータプロ3000には、操作性を格段に向上させたユニークなフィーチャーがあります。それが、本体に装備したほとんどの機能が離れた場所から自在に操れる多機能ワイヤレスエディターです。ベータプロIIに装備したワイヤレスエディターをさらにグレードアップ。リモコンは付属品といった従来の考え方を超えた、堂々たるコントロールセンターです。電源の入/切、イジェクト、録画、再生といった基本動作はもちろん、ジョグ/シャトルを使った変速再生や、ベータプロ3000ならではのプロ感覚の編集プレイもコントロール。いわば、プロの操作性が手の中にすっぽりと収まるわけです。

（プロのテクニック、ひとりじめ。業務用編集システム）に使われているジョグダイヤル装備。

放送局のビデオ編集システムで使われているジョグダイヤルをワイヤレスエディターへ装備。このジョグダイヤルを使って、次の4つの機能がコントロールできます。①再生画像が指先ひとつで動かせる「ジョグサーチ」。静止画の状態でジョグダイヤルを回すと、回すスピードに合わせてコマ送りからスロー再生、標準再生まで、画像を自由なスピードで動かします。ダイヤルを速く回すと画像も速く動き、ゆっくり回すとゆっくり動きます。また右へ回すと正方向、左へ回すと逆方向へ画像が動き、回転をとめると画像も静止画になります。②チャンネルのスピード選局。本体のダイヤル及びチャンネル+/- ボタンを押すほかに、ワイヤレスエディター側のジョグダイヤルを回してビデオのチャンネル選局が行えます。ジョグ



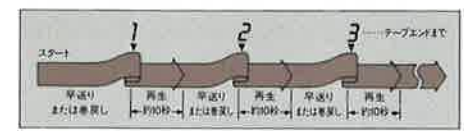
グダイヤルを右へ回すとより大きい数字のチャンネルを、左へ回すと小さい数字のチャンネルをスピーディーに選択。VHF1チャンネルから、UHF62チャンネルまで、プリセットされたチャンネルの選局が可能です。③時計合わせ、タイマー予約。ジョグダイヤルを回して、時計合わせやタイマー録画の予約が可能です。ダイヤルを回す方向によって時計の数字や曜日、チャンネルを選択でき、予約のセットもスムーズに行えます。ことにデータスクリーンを使ってタイマー予約をする場合には、テレビ画面上に3週分のカレンダーが表示されるため、ミスなくセットできます。④タイトル作成。タイトルインサート用の文字・記号などを、ジョグダイヤルでスピーディーに選択できます。

（画像の再生スピードが自由に操れるシャトルリング）

ジョグシャトルの外側にはシャトルリングを装備しています。静止画の状態ではシャトルリングを回すと、回した角度の大きさに合わせて、1/2倍⇔標準⇔2倍速⇔ピクチャーサーチと、お好みのスピードで再生可能。もちろんジョグサーチ同様、右に回すと正方向、左に回すと逆転での変速再生が楽しめます。（本体側リングでは、1/2倍速再生からピクチャーサーチまで操作可能。）

（録画済テープの内容チェックに便利なインデックススキャン。）

テープの任意の位置にインデックス（頭出し信号）を記録でき、信号が記録されたすべてのプログラムのイントロ部分だけを連続して再生できる機能です。早送りや巻戻しをしながらインデックスを見つければ、自動的に約10秒間だけ次々に再生。見たいプログラムが出たら、再生ボタンを押せば続けて再生できます。プログラムの検索や録画済テープの内容チェックに便利です。



（見たいプログラムがすぐに呼び出せるインデックスサーチ）

インデックス番号の指定により、前後19番目まで見たいプログラムを直接呼び出せる機能です。一本のテープにたくさんの番組を録画している場合でも、目的のシーンや目的のプログラムが簡単にしかもスピーディーに呼び出せるため、編集作業などに威力を発揮します。

（分単位で早送り・巻戻し地点が指定できるタイムサーチ機能）

現在見ているテープの場所から、テンキーを使って早送りや巻戻しの地点を分単位で直接アクセスできる機能です。これにより、「15分前への巻戻し」や「1時間20分後への早送り」などが自在に指定できます。



（ワイヤレスエディターで操作できるその他の機能）

●データスクリーン機能：ワンプッシュのボタン操作で、テープ動作、タイマー予約、編集情報などテレビ画面で確認できます。●EE/PB切替機能：テープの再生中やビデオ編集中に、ワンプッシュのボタン操作で、内蔵チューナーで選択した放送や再生側デッキの再生画・再生音が確認できます。●REC PAUSE/PLAY PAUSEダイレクト切替機能：一時停止状態のまま録画モードから再生モードへ切り換え可能。テレビ録画時のCMカットなどに便利です。●カウンターリセット：タイムカウンター「0H00M00S」表示へワンタッチでセットできます。●インプットセクター：4種類の入力モード（ライン1/ライン2/チューナー/サイマルキャスト）をすばやく選択できます。●クイックタイマー録画：ワンタッチのボタン操作で30分単位に最高5時間まで録画セットができます。●録画モード切替：タイマー予約時にⅡIs/ⅡⅡ/ⅡⅢの録画モードが選択できます。●オートプレイ：テープの頭まで巻き戻した後、自動的に再生をはじめることができます。●テープリターン：タイムカウンター「0H00M00S」の位置へ瞬時に早送り・巻き戻しが可能。テープリターン中に再生ボタンを押せば、0H00M00Sの位置から自動的に再生します。●1台のワイヤレスエディターで2台のベータマックスが別々に操作できるリモコンモード切替スイッチ。●ソニーの■マーク付リモコンテレビのチャンネル切替や音量調節も可能。●再生音のステレオ/メイン/サブの切替が可能。

（アニメ作りに便利な、コマ録り機能）

録画一時停止の状態でも一度録画スイッチを押すと約7フレーム分(0.23秒)のコマ録りが楽しめます。コマ録りのたびに再生ボタンとジョグダイヤルを使って数コマづつ戻していけば、さらにきめこまかいコマ録りも可能。カメラと組んで、精度の高いアニメーションを撮影することができます。（別売ビデオカメラ用ACアダプター使用）

（高度な編集プレイが楽しめる8イベントプログラム）

録画済テープの中から必要なシーンだけをつなぎ合わせたり、順序を入れかえたりするアッセンブル編集を大幅に自動化した機能です。簡単な操作で録画側にセットしたもう1台のベータマックスとシンクロ動作して、最

大8つの場面を次々に自動編集していくことができます。録画済テープの任意の区間に新しい映像や音声（を挿入できるビデオ/オーディオインサート機能）もう1台のベータマックスから別のシーンを挿入したり、オーディオソースをBGMとしてアフレコするなど、録画済テープの好みの場所へ、あとから新しい映像や音声を自由にインサートできる機能です。

（自作のタイトルをスーパーインポーズできるタイトルインサート機能）

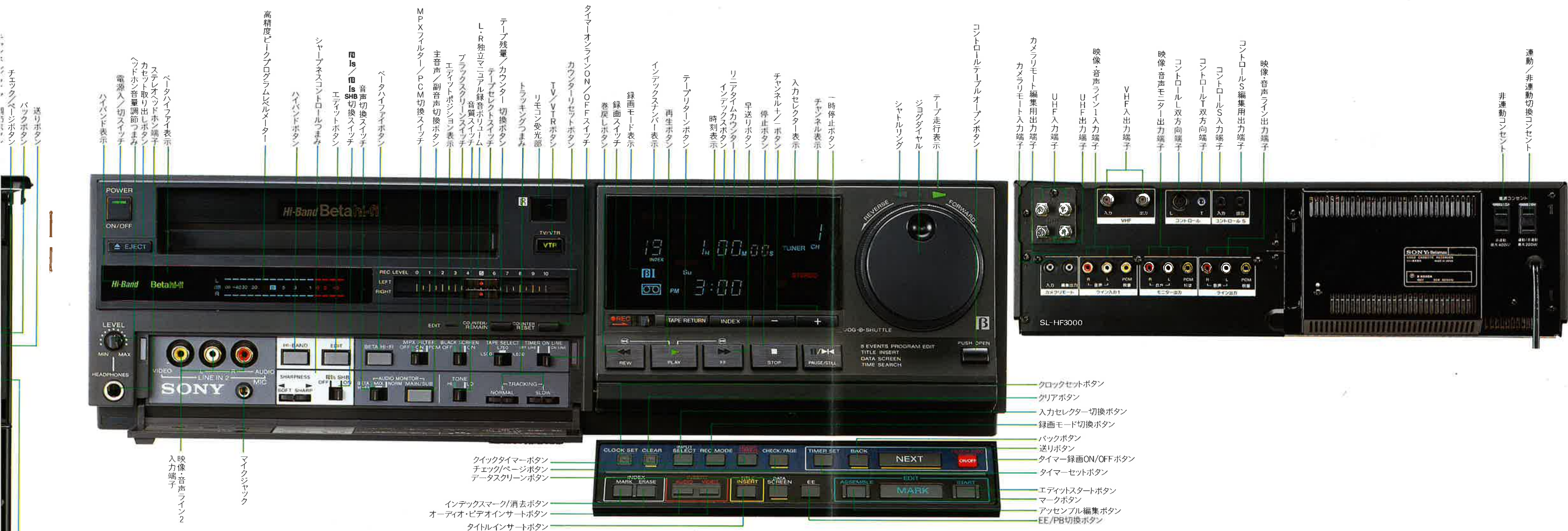
アルファベットの文字や記号、数字を使ってオリジナルタイトルが8ページまで作成可能。このタイトルをお好みの画面へスーパーインポーズ録画することができます。

（ワイヤレスエディターの操作性を向上させる変速再生機能）

ワイヤレスエディターでは、ジョグダイヤル、シャトルリングやその他の変速再生機能を使って多彩な映像プレイが楽しめます。①ノイズがきわめて少ないクリーンスロー：正逆両方向で1/2倍速・1/4倍速の美しいスローモーション再生が楽しめます。スポーツのフォームの研究や編集ポイント探しに便利な機能です。②美しい静止画を実現したクリーンスチル、コマ送り：ここぞという場面をビタリと静止させるクリーンスチル機能を装備。静止画状態から簡単なボタン操作で、正逆両方向のコマ送りや連続コマ送りへも移行できます。③編集ポイント探しに便利な高速ピクチャーサーチ/倍速再生：D.A.プロ4ヘッドの採用により、ノイズの少ないピクチャーサーチ画を実現。また、倍速再生時には音声の聞きとりも可能。（ⅡⅡ/ⅡⅢ）ニュースの早聞きなどに便利です。

（ワイヤレスエディターで操作できるその他の機能）

●データスクリーン機能：ワンプッシュのボタン操作で、テープ動作、タイマー予約、編集情報などテレビ画面で確認できます。●EE/PB切替機能：テープの再生中やビデオ編集中に、ワンプッシュのボタン操作で、内蔵チューナーで選択した放送や再生側デッキの再生画・再生音が確認できます。●REC PAUSE/PLAY PAUSEダイレクト切替機能：一時停止状態のまま録画モードから再生モードへ切り換え可能。テレビ録画時のCMカットなどに便利です。●カウンターリセット：タイムカウンター「0H00M00S」表示へワンタッチでセットできます。●インプットセクター：4種類の入力モード（ライン1/ライン2/チューナー/サイマルキャスト）をすばやく選択できます。●クイックタイマー録画：ワンタッチのボタン操作で30分単位に最高5時間まで録画セットができます。●録画モード切替：タイマー予約時にⅡIs/ⅡⅡ/ⅡⅢの録画モードが選択できます。●オートプレイ：テープの頭まで巻き戻した後、自動的に再生をはじめることができます。●テープリターン：タイムカウンター「0H00M00S」の位置へ瞬時に早送り・巻き戻しが可能。テープリターン中に再生ボタンを押せば、0H00M00Sの位置から自動的に再生します。●1台のワイヤレスエディターで2台のベータマックスが別々に操作できるリモコンモード切替スイッチ。●ソニーの■マーク付リモコンテレビのチャンネル切替や音量調節も可能。●再生音のステレオ/メイン/サブの切替が可能。



さまざまなオペレーション情報をテレビ画面にわかりやすく表示するデータスクリーン機能。

ビデオオペレーションに格段の進歩をもたらしたデータスクリーン機能を、さらに表示モードを増やして採用しています。ワイヤレスエディターや本体のデータスクリーンスイッチをONにすると、①録画・再生・早送り・巻戻し・スチル・スローなどのビデオの基本動作や②指定したチャンネル、時・分・秒・フレーム数まで正確に表示するリニアタイムカウンター、プログラムタイマーの予約状況といったオペレーション情報、さらに、③インデックススキャン/サーチ、タイムサーチ、テープリメインなどの機能の表示や編集スタートポイント/終了ポイント、ラップタイム、タイトルインサート時のアルファベット文字などの編集情報をテレビ画面にわかり易くディスプレイ。多彩な機能が自在に操れるとともに、ワイヤレスエディターによる遠隔操作もより簡単に楽しめます。

狙った番組がたっぷり録れる3週8プログラムタイマー。さ来週の土曜日まで最高8番組の録画予約がデータスクリーンやジョグダイヤルを使ってスピーディにセットできます。しかも、同時刻・同チャンネルの番組の毎日録画、日曜ぬきの毎日録画、土・日曜ぬきの毎日録画、同じ曜日の番組の毎週録画といった便利なモードも新装備。帯番組などの録画予約がいっそう簡単になりました。また、各プログラムごとに録画モード(10/15、10/11、10/11)や入力モード(チューナー入力、ライン入力、サイマルキャスト)が選択可能。よりバラエティに富んだタイマー予約が行えます。多彩なオペレーション情報を表示するダブルディスプレイ。テープカウンターと現在時刻を同時に表示する便利で見やすい集中2連表示の大型ディスプレイを搭載しました。この2連の表示枠は、タイマーセット時には、録画開始時刻と録画終了時刻を、また、自動編集時には、編集開始ポ

イントと編集終了ポイントを表示するなど操作モードに合わせて多目的にディスプレイ。また、インデックスナンバーや録画モード、テープ残量といった操作情報も一括表示します。ビデオテープが2倍楽しめるサイマルキャスト録音。テレビ番組の録画・録音をしながら、ステレオやFMチューナーなどの外部機器からの音をベータハイファイ録音することができます。この時、テレビの音は従来方式で録音。収録したテレビの画面とベータハイファイの音声はスイッチの切換えによりミックスして再生することもできます。FMソースの留守録も可能なタイマー・オンライン機構。接続した外部機器の電源ON/OFFをコントロールできる連動/非連動切替型ACアウトレットを搭載。ここにFMチューナー/アンプなどのオーディオ機器をつなぎ、タイマー・オンラインスイッチをON LINEにすると、ビデオの録画用タイマーを使ってFM放送の留守録が楽しめます。

FMエアチェック時のノイズを軽減するMPXフィルター。FMソースのエアチェックやテレビ録画など音をベータハイファイ録音する時、チューナーから浸入するノイズを大幅に軽減。より高音質なハイファイ録音が楽しめます。編集や本格的AVに対応した2系統のライン出力端子。データスクリーンを可能にしたモニターアウト端子とラインアウト端子の2系統のオーディオ/ビデオ出力端子を装備。編集や本格的なAVプレイに余裕をもって対応します。音声ライン出力端子は接触抵抗の少ない金メッキ仕様です。フロントシーリングパネル内に装備したライン2入力端子を装備。もう1台のビデオと組んで編集する時も、リアパネルの配線をそのままにスマートに接続できます。マニアライクなL・R独立マニュアル録音レベルボリューム。お好みの音量で録音が楽しめるL・R2連式の録音レベ

ルボリュームを装備。L・Rを独立して微妙な録音レベル調節が可能でマニアライクな設計です。また、ピークプログラムメーターは、見やすい16セグメントLED表示です。PCMデジタル録音・再生にも対応したPCMスイッチ。PCMデジタルオーディオプロセッサをビデオ入力端子につなぎ、MPX(ON/OFF)/PCM切替スイッチをPCMにすると、テープのビデオトラックを利用してPCMデジタル録音が可能。高純度なデジタルサウンドが堪能できます。バラエティに富んだ便利なオート機能。●オートリワインド...テープが終りまできると自動的にテープが最初まで巻戻されて停止します。●オートイジェクト...ツメが折れているカセットを入れて録画しようとすると、カセットが自動的に出てきます。●オートプレイ...巻戻しボタンを押しながら再生ボタンを押すと、テープの始めまで巻戻され自動的に頭から再生されます。●オートパワーオン...

電源が入っていないでも、カセットを入れると自動的に電源が入りカセットはそのまま装てんされます。●オートダイレクトイジェクト...電源スイッチを入れなくてもイジェクトボタンを押すだけで自動的に電源が入り、カセットが取り出せます。電源は数秒後に自動的に切れます。●テープリターン...テープリターンボタンを押すとカウンター0H00M00Sの位置まで巻戻しまたは早送りされ自動的に停止します。●テープリターンプレイ...テープリターンの動作中に、再生ボタンを押すとカウンター0H00M00Sの位置まで巻戻しまたは早送りされたあと、自動的に再生が始まります。ベータプロ3000のその他の特長。●音声アフレコが楽しめるマイク入力端子●レベルボリューム付のヘッドホン端子●1台のワイヤレスエディターで2台のベータマックスが操作できるVTR-1/2リコモコンモード切替スイッチ●ステレオ/メイン/サブの音声切替スイッチ

ハイバンドの高画質をクリエイティブに使いこなす。

よりクオリティの高いビデオ編集のために。ベータプロ3000は、ベーシックな編集能力にも磨きをかけた。

ベータムービーで撮った子供の成長記録を1本のテープにまとめた。録りだめしたミュージックビデオの中から、よりすりのベストビデオを編集したい……テープライブラリーが充実するとともに、ビデオ編集はよりポピュラーなものになりつつあります。ベータプロ3000では、美しいつなぎ録りを実現したツインフライングイレースヘッドや、フレーム数まで表示するリアタイムカウンターなど、編集プレイをより美しく、より簡単に行うための数々の新技術を投入。ベーシックな編集能力を高めることで、アッセンブルやインサートなどの高度な編集機能を十二分に生かしています。

回転消去ヘッドを2個搭載。美しいつなぎ録りにさらに磨きをかけたツインFE(フライングイレース)ヘッド。

録画済テープの消去方法として、ベータプロ3000では業務用ビデオで使われているFE(フライングイレース)ヘッドのツイン化に成功。記録ヘッドと45度位置をずらして消去ヘッドを2個搭載し、消去効率をさらに向上させています。FBIIモードの場合、2個の回転消去ヘッドが録画済の部分を1フレーム(画像1コマ分)づつ正確に消去。FBIsモードの場合には、1フレームの半分=1フィールドごとの完全消去を達成しています。これにより、つなぎ録り部分からレインボーノイズや色のにじみをとったり、消しすぎも解消。編集前後の映像を異和感なく、スムーズにつなげることができ、よりクオリティの高い編集プレイを可能にしています。

	消去パターン(消しはじめ)	つなぎ録り後のテープ
フルイレース		
FBIIモード(テープ全面消去)		
FBIsモード(テープ半面消去)		

テレビ画面に、時・分・秒・フレーム数まで正確に表示するリアタイムカウンター。

クオリティの高い編集を行うためには、カウンターにもハイレベルの精度が要求されます。そこで、ベータプロ3000では、本体のリアタイムカウンター(秒単位表示)に加え、データスクリーン上に、フレーム単位でテープ位置を表示する

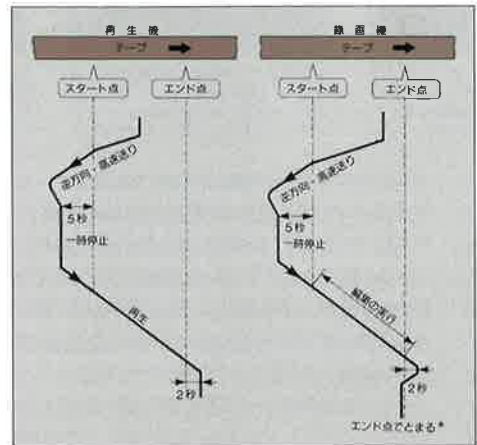
カウンターを装備しました。新開発のマイコンとサーボ回路により、テープに記録されているコントロールトラック(CTL)信号を正確にカウント。1秒間に30フレーム(コマ)映し出されるビデオ画像を1フレーム単位で確認できます。

編集に関するあらゆるオペレーション情報がテレビ画面で確認できるデータスクリーン機能。

アッセンブル編集、インサート編集、そしてタイトルインサートなど、編集に関するあらゆるオペレーション情報がテレビ画面上で確認できます。編集ポイントをマークする時のイベントナンバーやスタート点やエンド点のカウンター値をフレーム単位でテレビ画面上にスーパーインポーズ表示。さらに、編集場面の累計時間もあわせて表示します。これにより、高度な編集プレイが簡単に楽しめるわけです。

編集精度±3フレームを実現した、プロ感覚の高精度プリロール編集

録画側・再生側の両方にベータプロ3000を使用した場合、業務用編集システムでも採用されている高精度プリロール編集が行えます。これは、編集開始前にあらかじめ数秒間のプリロール(助走)期間をもうけ、録画側・再生側の両デッキをより厳格にシンクロ作動させる編集方式です。ベータプロ3000の場合、編集を開始させると、①録画側デッキは再生モードの状態では録画スタート地点の5秒前の位置へ巻戻り一時停止。同時に再生側デッキも編集スタート地点の5秒前の位置で再生一時停止の状態に。続いて、②この5秒間のプリロール期間を2台同時に再生しながら、2台の動作を正確にシンクロさせる。そして、③5秒後の編集スタート地点に到達したら、録画側デッキは自動的に録画モードに切り換わり、編集作業が実行される、というものです。このプリロール編集により、編集精度の誤差は±3フレームを実現。1/60秒単位の正確さで高画質・高精度のビデオ編集が思い通りに行えます。



高精度のプリロール編集を約束するコントロールT端子

高精度のプリロール編集の前提となるのがコントロールT端子です。コマンド信号の入力端子と出力端子を一本化。従来、再生機側から一方通行になっていた編集用コマンド信号の流れを、録・再生両デッキ間で双方向化することにより、シンクロ作動のタイミングをより厳格に追いつくことが可能になりました。これにより、2台のベータプロ3000のコントロールT端子どおしを別売接続コードVK-1000Tでつなげば、プロ感覚のプリロール編集が手軽に楽しめます。

もう1台のベータマックスと組む。ビデオカメラと組む。手軽に編集プレイが楽しめる豊富な入出力端子。

コントロールS入力端子: ソニーのリモコンの標準となっている端子です。コントロール出力端子をもつベータマックスと組んで連動したビデオ動作が可能で。

コントロールS編集用出力端子: 編集時に、もう1台のベータマックス(SL-HF900、HF900MKII、HF705、HF507、HF3など)のコントロールS入力端子と接続。ベータプロ3000のスタート、ストップ動作ともう1台のベータマックスのスタート・ストップ動作をシンクロ作動させることができます。コントロールL双方向端子: ベータプロ3000のほか、SL-HF900、HF900MKII、HF705に装備。別売のビデオエディティングコントローラーRM-E100Vとつないで、早送り・再生など各種モードの情報を双方向に伝送可能。最大8プログラムまでの自動アッセンブル編集が行えます。

カメラリモート入力端子: カメラACアダプター(別売HVA-230)を使ってカメラ撮影が可能。カメラ側のON/OFF操作でビデオのポーズコントロールができます。

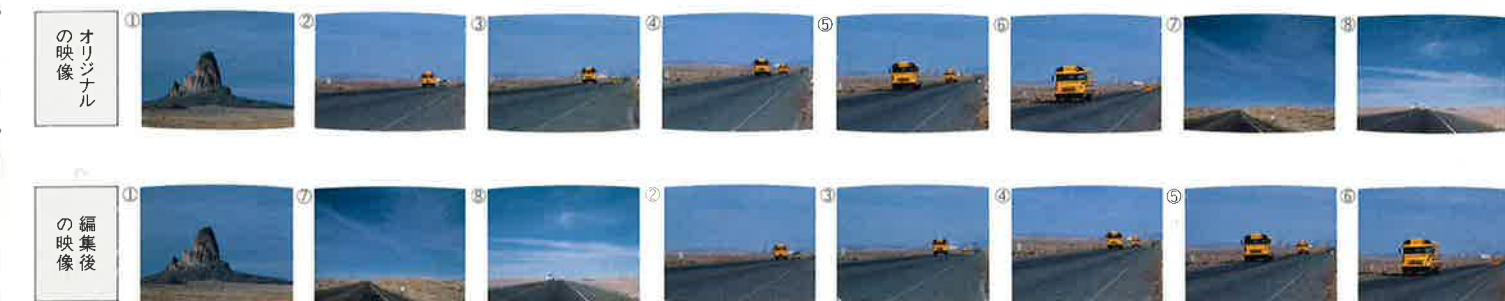
カメラリモート編集用出力端子: 編集時にもう1台のベータマックスのカメラリモート入力端子に接続。接続した再生側ベータマックスのポーズコントロールが可能です。

ノーマルオーディオ音出し機能やオートエディット機能をはじめとした便利な編集用機能

編集モードに入ると、ジョグ/シャトルなどを使って編集ポイントを探している間、変速再生の画像と同時にノーマルオーディオの音がモニター可能。音の編集を行うときや、音で編集ポイントを探すときなどに特に便利です。また、この他にも、コントロールT信号によるプリロールの編集がコントロールS信号によるつなぎ録り編集かの自動判別機能や編集モードに入ると自動的にエディットポジションに移行するオートエディット機能。さらには、プリロール編集時に、相手機が編集ポイントで待機していないと実行できない保護機能など、従来、業務用機器に採用されていた機能を数多くとり入れ、編集モードでの操作性を大幅に向上させています。

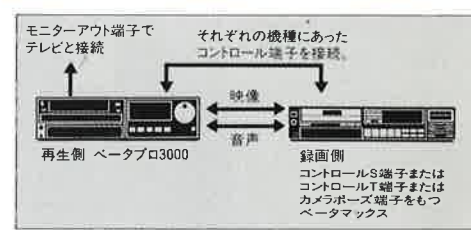
ベータプロ3000は編集のために生まれたビデオだ。

ASSEMBLE アッセンブル編集を大幅に自動化した、8イベントプログラムエディット機能を採用しています。

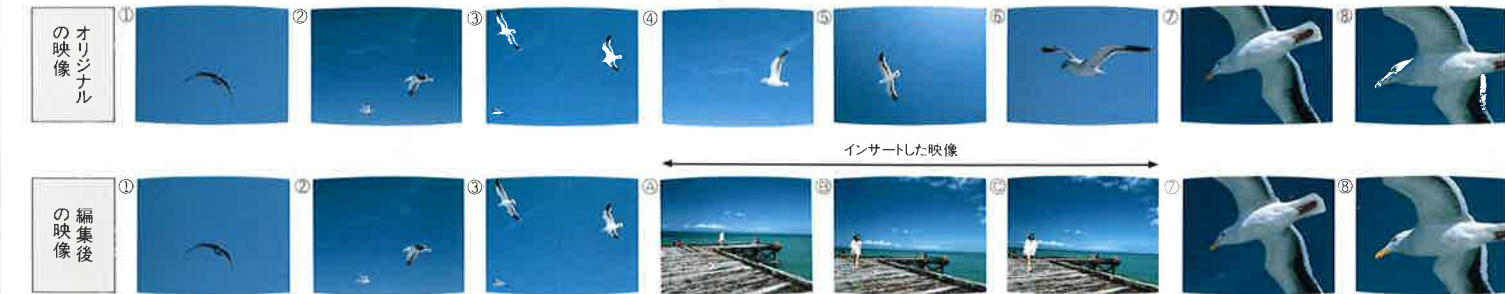


録画済テープの中から必要なシーンだけをつなぎ合わせたり、順序を入れかえたりする編集方法をアッセンブル編集と呼びます。ベータプロ3000では、このアッセンブル編集を大幅に自動化した8イベントプログラムエディット機能を装備しました。データスクリーン上の表示を見ながら、編集したい場面のスタートポイントとエンドポイントをプログラム1~8へマーキング。続いて、編集スタートボタンを

押すと、録画側デッキと再生側デッキがシンクロ作動して、プログラム順に自動編集をはじめます。しかも、マーキングした編集場面の累計時間も同時に表示するラップ機能も装備。編集時間を正確に把握しながら、簡単操作で自動編集が楽しめます。また、プリロール編集の場合には、業務用機器に採用されているバット(連続)編集も可能。8イベントをこえる本格的な連続編集が簡単にできます。

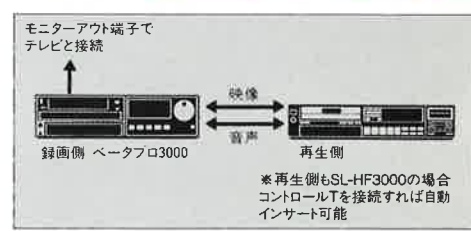


AV INSERT 録画済テープの任意の区間に、新しい映像や音声をインサートすることができます。



もう1台のベータマックスから、録画済テープの好みの区間へ、別の映像や音声を挿入する編集方法です。ベータプロ3000を録画側にセット。録画側テープの中から新しいソースと入れ替えたい区間を指定すれば、簡単操作でインサート編集が行えます。しかもベータプロ3000のAVインサート機能は、目的に合わせて3タイプのインサート方法が選択できます。①AVインサート: お好みの区間の

映像と音声をそっくり入れ替えるインサート方法です。映像およびハイファイ音声、ノーマルトラックも新しいソースが挿入されます。②ビデオインサート: 映像およびハイファイ音声だけを入れ替えるインサート方法です。ノーマルトラックは元の音声が残ります。③オーディオインサート: ノーマルトラックの音声だけを新しいソースに入れ替えます。また、ベータプロ3000を2台使えば、自動挿入が可能です。



TITLE INSERT 自分で作ったタイトルをお好みの画面にスーパーインポーズできる機能です。



アルファベットの文字や記号・数字を使ってオリジナルタイトルが作成できます。文字の大きさは、ジョグダイヤルを使って、標準、2倍、3倍、4倍と4段階で選択可能。文字のバックも白文字か黒ベタ白抜き文字かが選べます。しかも、これら作成したタイトルは、8面までメモリーでき、テレビ録画時やビデオ編集時にお好みの画面にスーパーインポーズして録画するこ

とが可能。例えば、ベータムービーで撮った運動会の映像に撮影日やカメラマンのイニシャルを撮影データとして記録したり、お気に入りの歌手だけを編集したベストビデオに自作のタイトルを録画することも自在です。また、本体シーリングパネルの中の、ブラックスクリーンスイッチをONにすれば、タイトル以外の映像を黒画面にすることも可能。下地の映像を消して、見やすいタイトルとして録画できます。

一台、また一台とシステムアップするたびに、 ビデオ編集の楽しみが広がる。 ベータプロ3000を中心にすえた、ハイクオリティ・エディティングシステム。



① 水平解像度560本・2000文字対応を実現。ハイバンドの高画質をフルにひき出すキュービックスタイリングのモニター、プロフィール・プロ。 **KX-27HV1 ¥275,000**
スタジオカラーモニターにも使われている、高性能くし形フィルターへの他に、〈ディレイラインアパコン〉を新たに採用。映像信号を忠実に再現する広帯域ビデオ回路との相乗効果で、水平解像度560本(ビデオ入力時)の鮮鋭画像を実現しています。しかもアパチャグリのファインピッチ化により、2000文字対応も実現。ハイバンドの能力をぎりぎりまでひき出す高画質時代のモニターです。

●大きさ: 幅653×高さ508×奥行489mm ●重さ: 51.5kg

② VHF-Lo(1~3ch)、VHF-Hi(4~12)、UHFの3つの帯域ごとに4段階のゲイン調節が可能。あらゆる電波状況に対応するビデオブースター。 **BO-300 ¥17,800**

●大きさ: 幅215×高さ55×奥行277mm ●重さ: 約1.9kg

③ ハイバンド・ベータハイファイに対応した、入力4系統・出力3系統のAVセレクター。 **SB-V4B ¥19,800**

●大きさ: 幅215×高さ55×奥行277mm ●重さ: 約1.5kg

④ ワイドなシステムアップを可能にする入力5系統・出力3系統を装備したAVセレクター。 **SB-V5 ¥35,000**

●大きさ: 幅430×高さ55×奥行280mm ●重さ: 3.0kg

⑤ 8色のバックカラージェネレーター機能を装備した多機能なビデオカラーコレクター。 **XV-C700 ¥89,000**

ジョイスティック操作で、ビデオ画像の色補正が簡単に行えます。しかも、映像・音声を独立して操作できるフェードイン/フェードアウト機能、オーディオミキサー機能、編集時の画質劣化を抑えるエンハンサー機能、そして8種類の色画面を創り出すバックカラージェネレーター機能も装備。ことに、バックカラーは、15通りのワイプ操作が可能です。

●大きさ: 幅430×高さ80×奥行277mm ●重さ: 約4.6kg

⑥ 手持ちのビデオカメラを使って、スーパーインポーズが行えるデジタルビデオテロップ。 **XV-T500 ¥59,800**

従来のテロップと違い、お手持ちのビデオカメラをそのまま接続可能。ビデオカメラで撮った映像をタイトルとして、ビデオ画像へスーパーインポーズできます。しかも、タイトル画像はデジタルメモリーを使って一時的にセーブ。抜き文字、フチ付文字、シャドウ付文字の書体アレンジや8色のカラーリングを駆使して、多彩な画像処理が楽しめます。

●大きさ: 幅430×高さ55×奥行277mm ●重さ: 約4.1kg

⑦ イメージスキャナーが捉えた素材をビデオ画像にスーパーインポーズ。編集プレイの楽しみをワイドに広げるピクチャーコンピューター。 **XV-T600 ¥69,800**

イメージスキャナーやオプションのMSX用トラックボールを使って作成したオリジナル画をビデオ画像にスーパーインポーズ記録することができます。

このタイトル画の細かな修正や、15色までの多彩なカラーリングも簡単なボタン操作で可能。また、別売のデータレコーダーを加えると、タイトル画のセーブもOK。ビデオ編集の楽しみをさらにワイドにする、先進のピクチャーコンピューターです。

●大きさ: 幅430×高さ55×奥行277mm ●重さ: 約4.5kg

⑧ パーソナルコンピューターHB-F900とAVクリエイターHBI-F900を組んで、16段階のモザイク効果やフェードイン/フェードアウトフリーズが可能。漢字ビデオタイトルソフト同梱。

HB-F900(B) ¥148,000 (12月発売予定)

●大きさ: 幅355×高さ76×奥行325mm(本体のみ)

●重さ: 本体5.7kg、キーボード1.2kg

HBI-F900 ¥64,800 (12月発売予定)

●大きさ: 幅355×高さ76×奥行343.5mm

※映像出力がない場合カメラ用ACアダプターが必要です。テレビ画面はハメコミ合成写真です。